

『広報にし』第66号は、下記の内容となっております。

▼第13回 西区第3地区福祉フェスタ 報告

▼ガッツとエヌの最近のひとこま

▼生活創造空間にし研修第3回目報告と第4回目周知／みんなの節供『重陽の節供』報告

▼コンサート邂逅 Vol.36『町田とびたつ会』報告／もへじの『拝啓 温暖化』

残暑の候、そろそろ秋風を感じられることを願って、いつもよりホットな情報をお届けします(古田中)



～アンラシネを目指します～

第66号 2025年10月20日発行

『西区第3地区福祉フェスタ』。第13回目の実行委員長を務められたのは『藤棚地域ケアプラザ』所長の『本間 睦』さんでした。今年のフェスタ開催に至るまでのお話や感想を報告していただきました。

2025年10月4日(土)10:00～西区第3地区福祉フェスタを開催いたしました。もう13回目となり、地域に根差した、地域のおまつりとして、たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。来場したお客様だけでなく、各ブース毎のスタッフやステージの参加者が、お客様ともなり、とてもにぎわいのあるイベントになりました。

今回、新しい団体も参加していただきました。横浜市中心図書館、児童発達支援事業所 おれんじハウス西横浜教室、地域活動支援センター パソコン工房 DELTA (デルタ) の3つの団体です。新たなつながりができ、とてもうれしく思っています。

福祉フェスタに参加する団体は、第3地区にある福祉施設が多いのですが、ご近所なのにあまり交流がない施設もあり、福祉フェスタの準備で毎月お会いしているうちに、お互いを知り、協力体制ができてきています。地域づくりも小さな積み重ねですね。



各ブースで青色の法被を着た5,6年生が大活躍!

1階も5階も大にぎわい! 約300名のご来場がありました

また、今年も稲荷台小学校の児童27名の皆様にボランティアとしてステージの司会や各ブースのお手伝いをしていただきました。元気な声で、お客様を呼びこみ、親切に対応してくださいました。お客様も喜んでくださり、各ブースのスタッフも皆様のおかげでとても助かりました。本当にありがとうございました。

第3地区福祉フェスタのテーマは、「次世代の担い手を育成する」です。次世代の担い手は、福祉施設に勤めるということだけでなく、福祉フェスタでボランティアをした経験や、福祉フェスタで楽しんだことで、大人になっても福祉に対してどんな形でもいいので関わっていき、福祉の担い手になっていくことが、大切なことと思っています。



作品等の展示は各所に点在していました

恒例行事のプレゼント抽選! おめでとうございます!

最後に、ご来場して頂いたお客様、第3地区懇談会の皆様、施設を開放して下さっている生活創造空間にし(ガッツ・びーと西、エヌ・クラブ)、実行委員会、多くの方々に支えられながら、このフェスタができていくことに感謝し、来年度も皆様と福祉フェスタを開催できることを楽しみにしています。

(西区第3地区福祉フェスタ 2025年度実行委員長 本間 睦)



ちびターニャに扮する 本間 睦 所長



ガッツとエヌの最近のひとこま



昨年度より、ガッツ・ビーと西の日中活動プログラムの一環として、御所山にある亀田病院で健康診断を受ける取り組みを始めました。きっかけは、保護者の方々からの「家族だけでは健診に連れて行くのが難しい」、「年齢を重ねてきたが健診の機会がなく、健康が心配」、といったニーズです。



亀田病院との連携による健康診断の取り組み

以前は、施設にレントゲン車などを呼び、施設内で健診を行っていました。これは、利用者が混乱しないように、また周囲に迷惑をかけないようにといった配慮からかと思えます。しかし今回は、「地域の医療機関とのつながり」や「病院での受診経験の機会」を重視し、亀田病院と何度も打ち合わせを重ねたうえで、通常の外来時間に受診する形で実施しました。

実際に取り組んでみると、利用者の新たな一面を多々知ることができました。例えば、普段マスクの着用が難しい方が、院内では一度も外すことなく健診を受けられたこと。また、言葉での説明が難しいと思っていた方が、医師や看護師、レントゲン技師の皆さんの丁寧で優しい対応にしっかり応じていた姿も印象的でした。

今年で2回目の実施となり、前回受診した利用者のことを看護師はじめ病院の方々が覚えていて下さったことも、地域とのつながりの深まりを感じる瞬間でした。この取り組みを通じて、地域に出ることの大切さ、そしてノーマライゼーションの価値を改めて実感しています。

今後も、こうした連携、地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。(森 博宣)



エヌ・クラブの新事業としてスタートした「とんかつ」。

先行販売を行った横浜高島屋では、なんと4日間で

57万円の売上を達成するほどの大盛況！

販売した「ロースカツ弁当」と「ヒシカツサンド」は、

どちらも肉の旨味がぎゅっと詰まった逸品です。

さらに、10月4日(土)に開催された第3地区福祉フェスタでも、

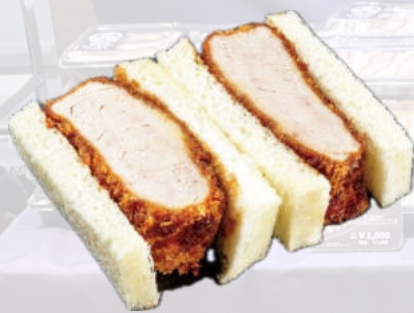
販売開始から続々とお客様が訪れ、

一時品切れになるほどの人気ぶり！

お客様からの「美味しかった！」という声が次々と届いています。

カツサンドは、今後も区民祭りや地域イベントなどで販売予定！

見かけた際は、ぜひお立ち寄りください。



また、お弁当として大好評のロースカツ弁当(税込 800 円)は、現在、仕出し弁当としてご予約受付中です！イベントや会議、会合等のランチにぴったり。ご予算やご要望にも応じますので、ぜひお気軽にご相談ください。皆様のご来店・ご予約を心よりお待ちしております！

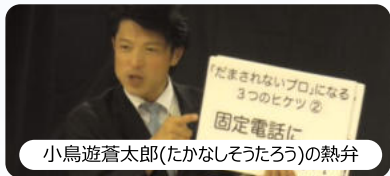
(横田 大悟)



お申込み、お問い合わせは

045-250-6470

第3回目 **だま 騙されますか？ みやぶ 見破れますか？** 2025.9.4(木)
17:00~18:30
じぶん ちから とくしゅ さぎ み まも
「自分の力で特殊詐欺から身を守るために！」



小鳥遊蒼太郎(たかなし そうたろう)の熱弁



劇中に登場した西区相談窓口クリアファイル

生活創造空間にし研修は、毎年、その時取り上げたいテーマを題材に研修を実施していますが、今年度は、「連携と協働」をテーマに5つの事例を取り上げて、現状把握と抱えている課題を共有し(学んで)、みんなで考えて(つながって)、それぞれで日々できることを実践する(動く)、そんな研修を目指しています。第3回目は、上記タイトルの通り、『表現のチカラ』代表の『はだ一朗』さんに“障がいの有無問わずだれも”が参加できるよう全面的なご協力をいただき、防犯演劇『ブルーチェイサー～特殊詐欺から身を守るために～』を演じてもらいました。

参加者は総勢49名、笑いあり、掛け合いあり、大変に賑やかでありながら学びある研修となりました。

「『はだ一朗』さんが会場の一人一人の声にも、耳をかたむけて、答えてくださることで、参加した“だれも”が学びを得られるような研修だったのではないか」
「劇を見ているだけではなく見ている側もまきこんで一緒に声に出したことで記憶に残りやすかった」と、いった旨のありがたいコメントもアンケートからいただくことができました。

次回の生活創造空間にし研修は、11月7日(金)17:00~19:00 第4回目『こども食堂の現在、そしてこれから～みんなの節供について～』という題で「こども食堂」をテーマに、ご登壇は近藤 博子氏(一般社団法人ともしび at だんだん代表理事)の他に、西区内の食支援団体の代表者2名の方にも取り組みをお話していただく予定です。ぜひ、ふるってご参加ください。(生活創造空間にし研修委員)

みんなの節供 重陽の節供 報告 2025年9月12日(金) 16:30~18:30 まで
『生活創造空間にし』にて『重陽の節供』を開催しました。

定員50名のところ今回の応募総数はなんと129名。最終的にはご参加者は大人34名、子ども18名の計52名。いつもよりもお子さんがとっても多い重陽の節供となりました。

今回の節供報告は、いつもの写真を掲載しての様子報告というよりも、皆さんからいただいているアンケートの一部をご紹介します(文章は文字数の関係で一部調整しています)

【コンサートについて】…★季節感を大切にした演目。日本文化を継承する形を継続してほしい。
★参加型のコンサートでとても楽しかった。

【食事について】…★食事で日本の伝統や、季節感を味わえる。
★職員が料理を取り分けする現行の方法が良い。

【私にとってのみんなの節供】…★ワンオペ育児の疲れを癒せる場、親はいい気分転換になる。
★電車が思う存分見られる。
★みんなで歌を歌ったり、ごはんを食べたり、名前通りの本当に『みんなの節供』だった。



次回は『七草の節供』2026年1月9日(金)開催予定です。

(お申込みの締切は12月12日(金)です。ご連絡は当選通知のみとなりますのでご了承ください。)



ときはなとう ころのこば

～みんなでつないだ音の旅～

2025年 9月 20日(土)

演奏時間:14:00～15:30

今年度もコンサート邂逅の初回は、『町田とびたつ会』の皆さん32名にお越しいただきました。来場者は18名(キャンセル4名)のご参加です。今回は初の試みとして、コンサートの演目中盤、会場の全員で輪になり、総勢50名以上で『マイムマイム』を踊りました。演者と観客に一体感が生まれ額に汗を光らせつつ、踊り終わった皆さんとても良い表情でした。

ご来場者アンケートでいただいた感想を一部ご紹介します。

「みんなで一緒に輪になって踊ったマイムマイムがとても良い。懐かしかった。」

「ころに刺さる歌詞が歌に乗り、ころにドーン！と響いた。映画『国宝』にも匹敵する感動だった。感極まって泣いてしまった。」

ステージでは、演奏者もメンバーもアンコール含めて23曲をノンストップで、魂のこもった演奏と歌声は圧巻でした。今回のコンサートの題名通り、歌うだけではなく、作詞も自分達で行う。町田とびたつ会のメンバーが伝えたい、ころからの想いを歌に乗せて、まさに空高く解き放たれ飛び立っていくような熱いパフォーマンスをありがとうございました。(桃井 麻美)

また、コンサート邂逅Vol.37は、『Megusta ♪』による『JAZZ NIGHT』を予定しています。

日時：2025年11月14日(金) 17:30開場 18:00開演 お問い合わせお待ちしております。

もへじの「拝啓 温暖化」

10月も中盤に入り、ようやく涼しくなってきましたね。

まあしかし、今年の夏も暑かったですね。冷房を止める時間がほとんどなく、電気料金が恐ろしかったです。

さて、年々暑くなっているように感じますが、やはり温暖化はすすんでいるのでしょうか？

現在、日本においても温暖化対策がとられているようですが、その気候・エネルギー予算はなんと年間1兆7千億円！さらに今後10年間は官民で150兆円かけて脱炭素を進めるようです！そして、その大金を投じた結果、下がる気温の予測はなんと“0.006度”！

お偉い政治家の皆様、どこを見て政治は行われているのでしょうか・・・

効果のある対策を示してほしいものです。未来のために。

by もへじ

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40
☎ 045-250-6506 (ガッツ・びーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)

